

暴言 公人の資格ない

日本維新の会の橋下徹共同代表（大阪市長）は13日、旧日本軍「慰安婦」問題について、「慰安婦制度というものが必要なのは誰だってわか

る」として、慰安婦制度そのものを正当化し、女性の人権を踏みにじる異常な暴言を吐きました。国内外で驚きと非難の声が広がっています。



橋下氏「慰安婦は必要」

市田書記局長「人間の尊厳おとしめる」

日本共産党の市田忠義書記局長は「これほど人間の尊厳をおとしめる発言はない。人間の血が流れているのかと思うくらいだ。公党の党首の資格がないだけでなく、

市長たる資格も、国政を語る資格もない」と厳しく批判しました。

日本共産党



記者会見する市田氏

「維新」幹部そろって同調

橋下氏はその後もツイッターなどで「人間に、特に男に、性的な欲求を解決する策が必要」などと居直り、維新の会幹部もそろって擁護しています。「維新」の存立そのものが問われる重大問題です。

石原慎太郎共同代表「軍と売春はつきもので、歴史の原理みたいなもの」「橋下氏は基本的

に間違ったことはしていない」

松井一郎幹事長（大阪府知事）「現実に（慰安婦制度が）あったということは、必要とされていた」

松野頼久国会議員団幹事長「（党としては）問題視しない」



「侵略の事実否定」繰り返す

「侵略の定義がないことは安倍首相が知っているとおりで」（橋下氏）。安倍首相は植民地支配と侵略を謝罪した村山談話について「安倍内閣としてそのまま継承しているわけではない」と発言。「侵略の定義は学界的にも国際的にも定まっていない」と歴史逆行の姿

勢を示し、撤回していません。これが橋下氏を調子づかせています。

首相、暴言否定せず

安倍首相は共産党議員が橋下暴言をただしたのに対し「他党の代表として立場が異なる」と繰り返すだけ。最後まで暴言を否定しませんでした。



安倍首相が調子づかせた